

青井記念館美術館

# はぐくみ会だより

第 49 号

令和 2 年 4 月 1 日



## 「波濤」

デザイン 六家敬吉 (第37代 校長)

監 修 大角 勲 (日本芸術院賞受賞 昭和34年金属工芸科卒)

この作品は、創立110周年を記念し制作されました。

題名の「波濤」は大なる波との意味を持っています。

現在本校で学んでいる生徒諸君。また、今後本校で専門科目を学ぶ未来の生徒諸君も、数多くの卒業生の方が社会で経験しておられ、克服されてきた数多くの問題を、必ずや経験していきます。

彼らが、これから経験するだろう「未知の大きな波」を克服していつかほしいとの願いが込められています。

# 第26回 青井中 美展

11月14日(木)～  
12月1日(日)

県内すべての中学校を対象とした公募展として周知されている青井中美展は、今回で26回展を迎えることが出来た。

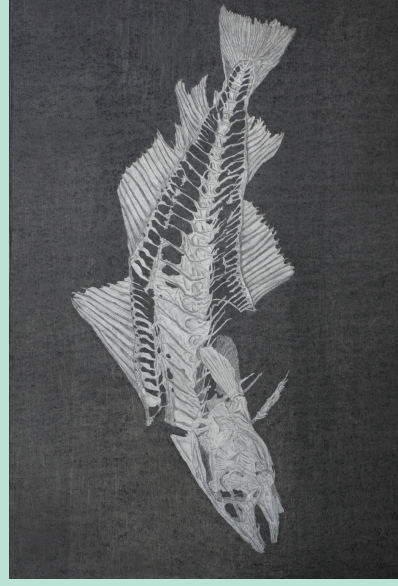
今年度は37校の参加、応募作品数426点(絵画部門184点、彫刻、工芸部門136点・デザイン部門106点)、うち入選・入賞238点となり平均入選率は55.9パーセントだった。

## 各賞受賞者

特別賞	高松 楽羅 (小杉)	青井大賞	清都 加菜里 (戸出)
特別賞	五杜 光希 (小杉)	富山県知事賞	甲谷 啓人 (蟹谷)
特別賞	窪島 大翔 (井波)	富山県教育委員会教育長賞	藤川 白麗 (出町)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	最優秀賞	南 葉月 (芳野)
特別賞	関原 衣莉 (西條)	優秀賞	嶽本 和奏 (出町)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優秀賞	村中 陸人 (出町)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	竹内 志織 (大門)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	犀川 晴太 (出町)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	竹端 隼杜 (戸出)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	辻井 大志 (井波)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	河合 歩美 (中田)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	西村 晴気 (蟹谷)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	岡崎 将太 (芳野)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	村松 若葉 (井波)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	白江 祐一 (伏木)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	渡邊 奈奈 (五位)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	酒井 佳心 (大門)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	藤岡 健太 (福岡)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	浅野 真未 (中田)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	関原 衣莉 (西條)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	大塚 咲希 (氷見)
特別賞	大塚 咲希 (氷見)	富山新聞社優良賞	大塚 咲希 (氷見)



●青井大賞「未来」  
高岡市立戸出中学校 三年 清都 加菜里



●富山県教育委員会教育長賞  
「blanco」  
砺波市立出町中学校 三年 藤川 白麗

●富山県知事賞「冥と輝」  
小矢部市立蟹谷中学校  
三年 甲谷 啓人



## 令和元年度

# 課題研究作品展

2月20日(木)～3月1日(日)

### 「工芸高校のものづくり」

学校長 六家 敬吉

令和最初の課題研究作品展が、青井記念館で開催されました。

展示作品は、本校三年生が個人またはグループで一年間かけて取り組んできた「課題研究」が中心の作品です。

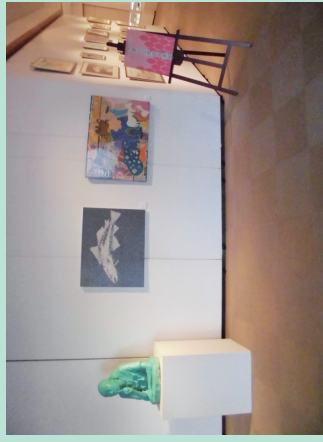
課題研究とは、各学科において今まで学んできた基礎的・基本的な学習の上に立ち、自らが課題を自ら設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合科を図ると共に、問題解決に向けて意欲的に取り組む能力や自発的、創造的な学習態度を育てることをねらいとしています。

展示に先立ち  
2月14日には、  
7学科の代表作  
品の発表会を多  
くの企業の方を  
お迎えし開催い

ました。来賓の方からは「大変素晴らしい」とのお言葉を数多く頂きました。

このように、生徒諸君は素晴らしい作品を製作したのですが、新型コロナウイルスの影響で、3月1日の卒業式の後に保護者の方々に一斉に作品をご覧頂くことができなかつたことは、大変に申し訳なく思っております。しかしこのような社会情勢にもかかわらず、会期中に保護者の皆様はじめ多くの方の観覧を頂いたことに改めて感謝申し上げます。

最後に卒業生の皆さんには、この経験を生かして、それぞれの道で頑張りたいと思



## 同窓生ギャラリー

第132回

12月14日(土)～1月12日(日)

### 第2回 高田 望展

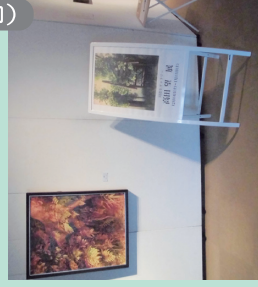
日展や光風会展に出  
品した作品など15点展  
示した。

デザイン科 平成23年卒  
高田 望

今回、青井記念館美術館では2回目の個展をさせて頂きました。前回の展示から3年が経ち、前よりもレベルアップした展覧会にしなければと不安でしたが、前回よりも良くなっているねという感想を頂き、少しずつでも成長できているのかなと実感することができ、嬉しくなりました。

作品を制作、発表していて、いろいろと落ち込むこともありますが、見に来て下さった方々の温かいお言葉を励みに、これからも頑張つて続けていきたいと思ひます。

ありがとうございました。



## 収蔵作品展 Ⅱ期

12月14日(土)～

1月13日(月・祝)

～ 錆絵から色漆 ～

高岡の漆工・初代石井勇  
助の錆絵と、本校卒業生山  
崎寛太郎の色漆を使った漆  
絵を中心に37点展示した。



## 企 画 展



1月18日(土)~2月11日(日)

● **ギャラリーD (デザイン・絵画科)**

第5回 デザイン・  
絵画科制作展に参加して

27日 宮田 佳音

私は、実習作品と、友人たちと頑張っているファッションデザイン、自主制作のタイポグラフィを展示しました。制作展に参加して、多くの方々に日頃私達が頑張って制作している作品を観ていただいたことを、とても嬉しく感じています。作品を制作する中で、苦手なことや慣れないことが多く、かなり苦戦することもありました。それでも今の自分にできる「最大限の力」を使い、満足のいく作品に仕上げていきました。制作展に展示してある作品一つ一つに、制作者の思いが込められている素敵な制作展だと思います。私は、これからも大きな壁におつかることがあると思いますが、その大きな壁を乗り越えて自分が満足のいく作品を制作していきたいと考えています。そして、このデザイン・絵画科制作展が、今後多くの方々に観てもらえるような制作展として続いてほしいと思います。

先生をはじめ、工芸高校の先生方の『ものづくり』への熱意は、私達生徒の「やってみよう」という情熱を引き出してくださいました。

私達は、これからも六家先生に教わった『ものづくり』への思いを受け継ぎ、修練し続けていきたいと思っています。



3月8日(日)~3月29日(日)

● **六家校長とその教え子たち展**

六家校長先生の退職のお祝いと感謝を込めて展覧会が企画された。

工芸科関係教職員9名、教え子11名が出展、金工10点、木工12点、彫刻8展、漆工5点、陶芸1点 総数36点展示した。

工芸科 平成3年卒 安達 陽子

第37代六家敬吉校長先生は、高岡工芸高校に就任されて以降、教諭で21年、教頭として8年、そして校長先生として3年、あわせて32年間の教員生活を過ごしてこられました。本当にお疲れ様でした。

先日、高校時代の同級生と当時を振り返る機会がありました。工芸科の使われていなかった鑄造の炉に、赴任されて間もない六家先生によって火が入れられました。「アルミの鑄造するけど、ちよっこ手伝わてみんか」と六家先生はその同級生に声をかけられました。

「鑄造ちや、なんちゅう手間がかかるんやろ。でも面白い」とその同級生は感じたそうです。その出来事が金工コースを選ぶひとつの要因となりました。

## はぐくみ会の会員の募集

年会費 (年1回納入)

・ 一般会員 (個人)

2,000円

・ 特別会員 (企業・団体)

10,000円

・ 会費納入は左記にお願いします。

(直接事務室への納入も可能です。)

郵便局

口座番号 00710-0-31367

富山県立高岡工芸高等学校

青井記念館美術館はぐくみ会

詳細は青井記念館美術館の事務担当者までお問い合わせください。

連絡先

高岡工芸高校

☎(0766) 21-1630 (代表)

編集発行

富山県立高岡工芸高等学校

青井記念館美術館はぐくみ会

住 所 ☎931-8318 高岡市中川1-1-10

T E L ☎762-21-1630

F A X ☎762-21-1631